



発行
建設省
富士砂防工事務所
富士宮市三園平1100
電話 (0544) 27-5221

土砂災害防止月間

6月1日火～6月30日水

「みんなで防ごう 土砂災害」

近年頻発する土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害や火山噴火による人命・財産の被害の防止を目的とし、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備の促進等、運動を強化する為、昭和58年度から実施しています。

がけ崩れ防災週間

6月1日(火)から6月7日(月)までの一週間をがけ崩れ災害の防止に重点を置いた運動を実施します。

12月の雪代発生時において人的被害を未然に防いだ3名が表彰される事になりました。

6月15日(火)・16日(水)の両日に土砂災害防止月間推進の集い(全国大会)が福島県で開催されます。

なお、この大会において、土砂災害防止功労者に、栗ノ木第3ダムの現場従業者である青木孝記、久保田明、旗持三吉郎の3名が、「地域の巡視を行い人的な被害発生を未然に防止する顕著な成果をあげた」として表彰されます。



平成4年度土砂災害防止作文コンクール

砂防部長賞

「自然に対する人間の英知」

富士市立須津中学校二年 大森 和悦

日本は、国土の七〇パーセントが山地である。火山国でもあり、台風も多く来襲する。そのため土砂災害が起きやすい。しかし、人は、実際の体験がないと、なかなか自然の大きさや恐ろしさがわからないのも事実だ。昨

年の六月三日、雲仙普賢岳の大噴火による大火砕流は、そんな僕達に自然の力のすごさを見せつけた。何かせずにはいられなくて、僕も義捐金を送ったりもしたが、小さな人間を嘲笑するかのようになり、その火山活動は終結に至ってはいない。五百日にも及ぶ避難生活を余儀なくされている人もいと聞いている。

しかし、考えてみると、そう思えるのは、自分が直接被害を受けていないからなのだ。自分達が現在安全に生活できるのはどうしてなのか、よく知っていないからなのだ。そう思うようになったのは、身近な山である富士山と僕の学校の横を流れている須津川の砂防工事現場を見学したからなのだ……。

デオに、自然の力とそれに対する砂防工事の大切さを思い知った。スーパー堤防から床固工まで歩く途中、二メートルを超す石や床固工から流された八トンもするブロックがゴロゴロしているのを見て、十一月二十八日の土石流のすさまじさが実感となって迫ってきた。さまざまな砂防施設を実際に目にし、岩樋終端で、事務所と光ファイバーケーブルで結ばれ、土石流の発生を瞬時にとらえるITVを見、自然から人々の生活を守る人間の英知のすばらしさを感じました。

須津川へ向かうバスの中で、所長さんのお話をうかがいながら、僕は、身近なものに対して関心を持っているようで、実際は何も知っていないなかったんだなあと考えた。「須津川が石だらけなのはなぜだろう。」と思わずに、

「須津川は石がゴロゴロしている川だ。」と思いついていた。富士山の隣にある古い山—愛鷹山からの土砂が須津川に流れてきているなどとは思いもしなかったの



「富士山が、姿を変



「須津川は石がゴロゴロしている川だ。」と思いついていた。富士山の隣にある古い山—愛鷹山からの土砂が須津川に流れてきているなどとは思いもしなかったの



流れを
てしま
角に

土砂防止月間作文の部受賞作品

とを知っている？」とを知らなかったというところから、先生にこう問われて、僕は驚いた。富士山は、一万年も前にできた日本一の山であり、郷土の誇りの山であり、これからも変わらない山だと思いい込んでいたからだ。僕達の表情を見てと

「僕達は、千年前から始まった大沢崩れのことやその崩落による土砂の流出を防ごうと行われている砂防工事のことについて話して下さった。」

「僕達は、千年前から始まった大沢崩れのことやその崩落による土砂の流出を防ごうと行われている砂防工事のことについて話して下さった。」

「僕達は、千年前から始まった大沢崩れのことやその崩落による土砂の流出を防ごうと行われている砂防工事のことについて話して下さった。」

「僕達は、千年前から始まった大沢崩れのことやその崩落による土砂の流出を防ごうと行われている砂防工事のことについて話して下さった。」

「僕達は、千年前から始まった大沢崩れのことやその崩落による土砂の流出を防ごうと行われている砂防工事のことについて話して下さった。」



た。いたいた資料の一つである「須津川流域の概要」によると、かつては須津川流域にも災害は多かったのだ。昭和四十九年七月七日の豪雨による富士市の被害は、床上浸水千五百五十戸、道路欠損六十七か所、ガケ崩れ三十七か所、河川護

岸欠損二十か所にも及んだという。その数字にゾッとした。河川合流付近に勾配がないため、流送土砂の急激な堆積と破堤が災害を招いたらしい。須津川も例外ではない。僕にとつての須津川は遊べる身近な川であり、こわいというイメージはなかっただけに驚いた。

須津川の上流に着き、その砂防施設を見た時、それが落差工であることが、ようやく僕にもわかるようになっていた。近くの大棚の滝の方からは、遊びに来たらしい家族連れや青年達のにぎやかな明るい声が聞こえた。その声を聞きながら、僕は、あの人達のうちの何人が、陰で生活や命を守ってもらっていることを知っているだろうかと思った。おそらく、今回の見学までの僕のように、知らない人がほとんどなのではないだろうか。

過日の新聞に、ネパールで、土砂崩れにより運転手が運転を誤り二十八人が死亡したとあった。土砂災害は、身近な問題であり、日本だけでなく世界の問題でもあるのだ。砂防工事に対する理解を深めるとともに、自然や僕達の生活を守りながら、自然と対しておられる方々への感謝と人間の英知への信頼をもって、富士山や須津川を見つめたいと思った。

いざという時の心構え

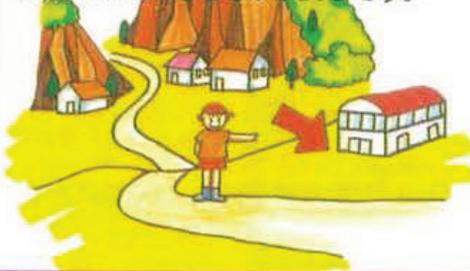
●雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



●避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族が全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。



●逃げ方を知っていますか？

土石流はスピードが速いため、背にして逃げたのでは追いつかれます。土砂の流れる方向とは、逃げましょう。



潤井川流路工の水辺空間が整備されました。皆さんの新しい憩いの場の一つとして、ぜひ、ご利用下さい。



潤井川流路工環境整備事業記念行事

日時／6月11日(金)
AM9:30～11:30(予定)

実施内容／

- オープニングセレモニー(除幕式)
- 道路公園の名称採用者の表彰
- 公園の花壇への植苗および路肩への植樹
- 上井手保育園児の写生大会
- 流路工内の美化清掃

ミス富士山や動物のぬいぐるみも参加してくれます。

主催／建設省富士砂防工事事務所
富士宮市



地域住民の皆様に土砂災害を防ぐ対策事業の必要性のご理解といざという時の心構えを確認していただくために静岡県土木部砂防課が計画作成しました。

芝川町へハザードマップを配布!!

静岡県土木部砂防課は土石流等危険区域啓発事業によるハザードマップ(土砂災害発生予想区域図)を今年度は芝川町の町内2,602戸へ平成5年6月1日から平成5年6月10日までに配布する予定です。

情報提供のお願い

●貴重な写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。

(連絡先)富士砂防工事事務所(建設専門官又は、調査課長まで)

☎0544(27)5221(内線350又は351)

建設省富士砂防工事事務所

〒418 富士宮市三園平1100 TEL.0544(27)5221

富士宮砂防出張所

〒418-02 富士宮市上井出826-1 TEL.0544(54)0236

富士山を守り地域の安全に貢献する